

目次

巻頭言	7
I. 概要	
1. 概要	11
2. 理念	13
3. 目標	14
4. 2017年度活動報告・主要行事	16
5. 組織図	23
6. 委員会等組織図	24
7. 施設基準	25
8. 教育研修指定関係	27
9. 院内研修会・講演会	29
10. 2017年度初期研修医の状況	36
11. 社会貢献活動	39
12. 外部向け教室・講座、交流会	44
II. 委員会等活動状況	
2017年度委員会体制	48
クオリティマネジメントセンター	51
総合サポートセンター	53
HPH推進センター	54
教育研修センター (SKYMET運営委員会)	55
外来診療委員会	56
病棟診療委員会	57
救急診療委員会	58
がん診療委員会	59
MS (マネジメントシステム) 事務局	60
倫理委員会	61
医療安全委員会	63
感染対策委員会	64
栄養管理委員会	66
臨床検査適正化委員会	67
輸血療法委員会	68
透析機器安全管理委員会	69

医療ガス管理委員会	70
適切なコーディング委員会	71
臨床研修管理委員会	72
初期研修委員会	73
研究倫理審査委員会	74
労働安全衛生委員会	75
防災対策委員会	76
省エネ推進事務局会議	77
保育運営協議会	77
経営委員会	78
教育委員会	79
病院利用委員会	80
地域活動委員会/地域活動推進委員会	81
S H J 委員会/S H J 推進委員会	82
広報委員会	83
薬事委員会	84
医療材料検討委員会	85
クリニカルパス委員会	85
医学生委員会	86
看護学生委員会	87
S P (模擬患者) の会担当者会議	88
電子カルテ委員会	89
がん化学療法チーム	90
褥瘡チーム	91
緩和ケアチーム	92
栄養サポートチーム (N S T)	93
乳腺科医療チーム	94
循環器医療チーム	95
糖尿病医療チーム	96
呼吸器医療チーム	98
消化器内科医療チーム	99
子育て支援チーム	100
感染対策チーム (I C T)	101
禁煙チーム	102
認知症ケアチーム	103
精神科リエゾンチーム	104

Ⅲ. 医療経営統計

1. 医療経営統計	108
2. 医療の質の改善	
(1) 医療の質改善の指標 領域一覧 (2017年版)	110
(2) 基礎情報	111
(3) 医療指標 2017年 測定値	112
3. 退院患者統計	
(1) 年代別・性別退院患者数	127
(2) 診療科別患者数および構成比率、平均年齢、在院日数の平均	128
(3) 疾病分類 (中間分類) 別患者数	129
(4) D P C 6桁別件数上位 50 傷病名	134
(5) 退院患者の主な手術 (診療科別)	135
(6) 退院患者の主な処置	144
(7) 死因統計 大分類別件数、原死因 I C D別患者数	146
4. 外来患者統計	
(1) 外来患者の年齢構成	149
(2) 傷病別患者数および平均年齢 (主傷病名、診察時傷病名)	149
(3) 死因中間分類別件数および平均死亡時年齢	151
5. 紹介患者統計	152
6. 救急患者統計	155
7. がん登録統計	156
8. 病理年報	158
9. 2017年細菌薬剤感受性検査統計・分離菌検出状況	164
(1) 薬剤感受性統計リスト (外来・入院別)	165
(2) 抗酸菌分離状況	169
(3) 検査集計	169
10. 薬剤科・副作用報告	170

Ⅳ. 診療科活動状況

総合内科	忍 哲也科長	174
循環器内科	金子 史科長	177
呼吸器内科	原澤慶次科長	179
消化器内科	間野真也科長	181
小児科	荒熊智宏科長	185
外科	栗原唯生医長	188
乳腺外科	金子しおり科長	191
整形外科	仁平高太郎部長	193

脳神経外科	石丸純夫部長	196
産婦人科	芳賀厚子副部長	197
泌尿器科		201
皮膚科	伊藤理恵部長	202
眼科		203
耳鼻咽喉科		204
精神科	荻野マリエ医長	204
病理診断科	石津英喜部長	206
糖尿病内科	村上哲雄科長	207
麻酔科	西川 毅手術室長	209
放射線科	吉田英夫部長	(V 20)
臨床検査科	村上純子部長	(V 19)

V. 部門の活動状況

1. 看護部	212
2. 看護育成課	215
3. 外来看護科Ⅰ	216
4. 外来看護科Ⅱ	217
5. 地域連携看護科	218
6. 透析看護科	219
7. 手術室看護科	220
8. 看護サポート科	221
9. C2病棟看護科	222
10. C3病棟(産婦人科)看護科	223
11. C3病棟(小児科)看護科	226
12. C4病棟看護科	227
13. C5病棟看護科	228
14. D2病棟看護科	229
15. D3病棟看護科	230
16. D4病棟・HCU看護科	231
17. D5病棟看護科	232
18. 薬剤科	233
19. 検査科	236
20. 放射線科・放射線画像診断科	239
21. リハビリテーション技術科	240
22. 食養科	241
23. ME科	242
24. システム管理課	244

25. 診療情報室	245
26. 外来医事課	247
27. 入院医事課	249
28. 医療社会事業課	250
29. 地域連携課	253
30. 安全企画室	254
31. 組合員活動課	255
32. 健康管理課	256
33. 資材課	257
34. つくし保育所	258
35. 総務課	259
36. 環境管理課	260
37. 教育研修室	261
38. 経営企画室	263
39. 医局事務課	264
40. 医師アシスト課	265

VI. 研究業績

1. 学会発表	269
2. 講演会	277
3. 著書	280
4. 論文	281
研究業績一覧	283
1. 忍 哲也、孫 国東、久保地美奈子、田中宏昌、守谷能和、大石克巳、小野未来代、辻 忠男、増田 剛 「当院における大腸EMR後出血例の検討」	283
2. 肥田 徹、土佐素史、忍 哲也、増田 剛 「下肢壊死性筋膜炎でショック，AKI，DICを発症した1症例」	286
3. 土佐素史、佐藤雄一、小野塚良輔、肥田 徹、忍 哲也、村上純子 「可逆性後部白質脳症症候群を契機に腎血管性高血圧症が発見された64歳男性例」	290

4. 三原 弘、木戸敏喜、岡澤成祐、古川彩香、田中宏昌、溝岡雅文、山内孝義、濱野忠則、 水腰英四郎、梶波康二 「報告：腹部救急診療 トレーニングコース開発の試み」……………	296
5. 尾内 綾、土佐素史、佐藤雄一、小野塚良輔、肥田 徹、忍 哲也 「ジギタリス中毒により心不全の増悪と食欲不振を来した1例」……………	303
6. 松村憲浩、田中宏昌、増田 剛 「 <i>Edwardsiella tarda</i> による感染性腸炎と若年発症の急性虚血性大腸炎との 鑑別が困難であった1例」……………	307
7. 浅沼晃三、岸本 裕、金子しおり、栗原唯生、佐野貴之、井上 豪、植田 守、長 潔、 井合 哲、市川辰夫 「自然環納を繰り返す閉鎖孔ヘルニアに対して Kugel 法を施行した1例」……………	311
8. 佐野貴之、市川辰夫、浅沼晃三、栗原唯生、岸本 裕 「経皮的内視鏡下胃内手術で切除した胃絨毛状腺腫（径10cm）の1例」……………	314
9. 辻 忠男、入月 聡、孫 国東、間野真也、忍 哲也、田中宏昌、久保地美奈子、 小野未来代、増田 剛、他 「膵疾患に対する内視鏡的膵管バルーン拡張術（EPDBD）の 有用性・安全性について——膵石症・仮性嚢胞・非癒合症治療例を中心に——」……………	321
10. 増田 剛 「脱帽！ キューバ医療——全日本民医連キューバ医療視察から視えたこと」……………	330
埼玉協同病院年報 掲載基準・論文投稿規程 ……………	337
編集後記（埼玉協同病院年報編集委員会）……………	338

2017年 年報 巻頭言



院長 増田 剛

年報2017(通算VOL30)が完成しました。「医報」時代から通算で30号、「年報」にバージョンアップしてからは6冊目、当院の年報は毎回色違いで出版しているので、計6色目ということになります。本棚に並べてみるとなかなかの景観です。

2017年(～2017年度)は当院にとって、そして、私個人にとっても、忘れられない一年になりました。特徴的なことを述べさせていただきます。

2017年3月にキューバ医療視察に参加しました。私自身、二度目のキューバでしたが、アメリカとの国交回復という歴史的变化の真ただ中で、様々な思惑が交錯する経済社会状況に直面しても、やはりキューバの国民は明るく朗らかでした。日本と比較して圧倒的に「お金がない」はずのカリブ海の小国が、世界有数の健康指標を達成していることの意味と価値を、また少し学び足せたと感じています。社会保障費の自然増すら抑制しようとする日本の政策が果たして「仕方ない」ことなのかどうか、国の在り方、基本的人権の視点で点検する時ではないでしょうか。

10月には若手の職員と一緒に平和を学ぶツアーとして隣国韓国に行きました。連日Jアラートが鳴り響き、北朝鮮への陰性感情が日本で吹き荒れている最中でした。ソウルから北上し、国境越しに生の北朝鮮を初めて見ました。案内してくれた地元の社会科の高校教師は「北の脅威を理由に日本が再軍備することが何よりも脅威だ」と繰り返し訴えていました。川向こうに「北」を眺められる丘で無邪気に遊ぶ韓国の子どもの姿が忘れられません。翌日はハルモニたちが私たちを大歓迎してくれました。彼女たちが経験してきた壮絶な人生を真剣に受け止めていた日本の若者たちの眼差しに、将来への希望を視た思いでした。

11月にはフランスでの社会保障のシンポジウムに参加する機会を得ました。地元フランス、ギリシャとEU、中国、チュニジアと北アフリカ、中央部アフリカの絶対的貧困地帯、そして日本から社会保障を巡る状況について報告がありました。グローバル資本主義の台頭と、社会保障への抑制政策は、程度の差こそあれ世界に共通しており、反緊縮運動の高揚が期待される情勢であることがわかりました。また、花の都パリの路上で物乞いをする人々や川沿いにテントで生活する難民たちの姿は、この国の抱える複雑な事情を象徴的に表していると感じました。

3つの「外国」はどれも刺激的な体験で、今後の仕事に活かすことができる貴重な財産となりました。

12月には二つの第三者認証(病院機能評価と卒後臨床研修評価)の更新に取り組み、達成し

ました。病院機能評価は5回目、卒後臨床研修評価は3回目の受審でしたが、現時点での当院の実力を知り、課題をより鮮明にすることができたと思います。特に、病院機能評価において、患者の診療参加、倫理課題への対応など当院が一貫して力を入れてきた分野で計6つの「S」が獲得できたこと、卒後臨床研修評価で研修医の取り組みが高く評価されたことは私たちにとって大きな確信となりました。職員たちの大奮闘に感謝感謝です。

さて、経営的には病院長を拜命して以降、最も厳しい一年になりました。医師体制の確立が間に合わなかった部分での患者減と、様々な事態に機敏に対応できなかった管理運営の未熟さがその主因だと私は理解しています。年度末から多くの職員が関わり、経営改善の取り組みが開始されています。一人でも多くの病人を受け入れ診療する、地域のニーズに質高く応えるために専門家集団としての修練を怠らない、そして、困難な人々の最後の砦となる決意を示し続ける、埼玉協同病院職員集団として新年度への挑戦が始まっています。

最後に肥田舜（ヒダシュン：私は愛情と尊敬の念を込めて密かにこう呼称していました）のことを少し書きます。2017年3月に初代病院長であった肥田舜太郎先生が亡くなりました。享年100歳、凄まじい人生を歩まれた偉人です。被ばく医師、反核運動のリーダーという面は大変有名ですが、医師としてどう生きるかという、極めて根源的な問いを当時の青年医師である私たちに投げかけ、ともに模索していただいたかけがえのない恩師です。大学を卒業して当院での研修を選択した私たちを「よくぞ来た、ありがとう」と出迎えていただいたことを今でもよく覚えています。先生の口癖「一番困っている人々が立ち上がらなければ世の中は変わらない」「徹底的に人権に拘って取り組み」は、現在の当法人（医療生協）の住民運動や、当院が取り組む無料低額診療、HPH運動などに通底するものです。2012年に私が院長職に就いた際には短い手紙を下さり、その中で、「(病院長という仕事は)自分も以前にやったが決して楽しいものじゃない。でも、やることになったのなら、思いっきりやってみろ」とヒダシュン節で励ましていただきました。ヒダシュンが亡くなって数ヵ月後、核兵器禁止条約が成立、その後ICANがノーベル平和賞を受賞しました。ヒダシュンを含めた多くの被ばく者たちの命懸けの運動が時代を切り開いた瞬間でした。

没後丸1年が過ぎた2018年4月1日、当院は開院40年を迎えました。初代院長として立ち上げから初期の困難期をリーダーとして奮闘したヒダシュンの眼には、40歳になった埼玉協同病院はどのように映っているのでしょうか？ これからの埼玉協同病院をつくるのは、バトンを受けた私たちです。困難はあっても地域とともに歩む姿勢を貫けば、必ず活路は開けると私は確信しています。

より成熟し進化した埼玉協同病院をお魅せできるよう、この1年一生懸命に仕事させていただく決意を述べて巻頭言と致します。

I. 概要

1. 概要

埼玉協同病院の概要

- ◇病床数 一般病床 401 床
(ハイケアユニット 4 床、緩和ケア病床 24 床、回復期リハビリテーション 50 床を含む)
- ◇医師数 76 名 (常勤)
- ◇標榜科 内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、緩和ケア内科、神経内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、リウマチ科、臨床検査科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、救急科、泌尿器科 (人工透析)、緩和ケア外科
- ◇専門外来 甲状腺、被爆、禁煙、在宅医療
- ◇1 日平均外来患者数 977.5 人
- ◇1 日平均入院患者数 291.7 人
- ◇指導医数 47 名
- ◇研修医数 14 名 (2017 年 12 月現在)

◆これまでのあゆみ

当院は 1978 年の開院以来、地域住民・組合員の皆様と力を合わせて、一貫して無差別・平等の医療・介護を追求し、より良き社会保障制度の確立に努力してきました。その実践として、当院は開院以来「差額ベッド代無し」を継続しております。加えて、2016 年には埼玉県より無料低額診療事業の認定を受けました。

当院は、地域医療に貢献すべく順次、医療機能の向上に努めてまいりました。1988 年に埼玉県より二次救急指定病院の認定を受け、1998 年に日本医療機能評価機構認定基準「一般病院種別 B」の認定を受けました。2004 年より包括医療費支払い制度 (D P C) に参加するとともに、2013 年には緩和ケア病棟 (24 床) を開設し、2015 年にはがん診療指定病院の認定を受けることができました。2017 年 1 月には産婦人科開設以来の分娩数 25,000 件に到達しています。

2016 年 3 月 WHO-H P H の認定プロジェクトでゴールドレベルの評価をいただきました。

当院の使命として、地域の医療活動を担う医師をはじめとした職員の育成に積極的に取り組んできました。1994 年に厚生労働省より臨床研修指定病院 (基幹型) の認定を受けました。2002 年には I S O 9001 を取得し、組織管理運営に品質マネジメントシステムの活用を開始しました。

今後も引き続き、住民・組合員と一体となり、医師会や近隣の医療機関・介護施設とも力を合わせて、個人の尊厳が守られるように地域医療の発展のために尽力してまいります。

◆病院の特色

埼玉県南部二次医療圏において、地域から期待される救急医療、がん診療を重点に急性期病院としての機能と質の向上に力を注ぐとともに、WHO（世界保健機関）が認定するHPH（ヘルス・プロモーション・ホスピタル）として患者、地域、職員へ質の高い保健予防活動を築くことを目指しています。

同時に、地域医療を担う人材を育成するために各専門職種の教育プログラムと育成環境の充実を図りつつ、教育研修センター・スキルラボを整備してきました。同時に、自ら定めた臨床指標（Q I：医療の質改善の指標）に沿った取り組みと振り返りをマネジメントシステムとして整備し、さまざまな機能・質の向上と職員育成を一体にすすめています。

病院理念にもとづき、社会保障制度、社会資源の活用につなげることで生活困難な方が必要な治療を適切に受けられるように、総合的なサポートの体制を確立し取り組みを広げています。

2. 理念

人権をまもり、健康なくらしに役立つ医療を、地域とともにつくります。

理念に基づく行動

◆医療が保障される社会づくり

- 個人が尊重され、社会的不平等のない医療・福祉制度の実現をめざします。
- 最大の環境破壊である戦争に反対し、平和と環境をまもります。

◆私たちの医療の目的と姿勢

- すべての人々が、健康に生き、尊厳をもって療養できるよう支援します。
- 利用者によりそい、自律を育み、安全・安心で最適な医療・介護を行います。

◆医療従事者としての成長

- 科学的視点と高い倫理観をもち、医学の成果と社会の進歩に学びます。
- 地域のなかで、育ちあう喜びとやりがいを感じられる職員に成長します。

埼玉協同病院職員の倫理指針

1. 私たち職員は、平和を希求し、生命を尊びます。
2. 私たち職員は、あらゆる差別を排し、分けへだてなく、一人ひとりの患者さまにとって最善の医療が提供できるよう努力します。
3. 私たち職員は、個人情報大切に扱います。知りえた個人情報を決して漏らしません。
4. 私たち職員は、科学の成果に学び、安全で質の高い医療サービス実現のために、協力しあいます。
5. 私たち職員は、常に専門職能を高め研鑽し、自らの職務・使命を誠実に果たします。
6. 私たち職員は、関連諸法規、就業規則等をよく学び、遵守します。不正を働かず、不正を見逃さず、不正を排除します。
7. 私たち職員は、以下の諸文書を常に学び、日々の業務・行動に生かすようつとめます。
 - ①私たちの医療理念（埼玉協同病院）
 - ②基本理念・品質方針・環境方針（医療生協さいたま）
 - ③医療生協の「患者の権利章典」（医療部会）
 - ④全日本民医連綱領（全日本民医連）
 - ⑤日本国憲法

3. 目標

2017年度 埼玉協同病院 BSC

ミッション	救急医療、がん診療を重点に急性期病院としての力を強めるとともに、地域医療を担う人材を育成する。
ビジョン	①救急医療の拡充を図るとともに、がん診療指定病院として一つ上の水準を目指す、あわせて災害拠点病院に準ずる備えをもつ。 ②より総合性と専門性を高め、医療の質の向上と医師養成を一体的に取り組む。 ③健康の社会的阻害要因 (SDH)の視点を日常診療に活かし、ヘルスプロモーションに取り組む。高齢者の生活を支援する。 ④4つのセンターを軸に、チーム医療のレベルアップを図り、職員が学び成長する動きやすい病院となる。

戦略目標	2017年度重要成功要因	評価指標	評価指標の定義と算出部門	2016年度現状値	2017年度目標値
強い医療生協を作る視点(F)	救急車、急患を積極的に受け入れる	1: 救急車搬入台数 2: 救急車からの入院件数 3: 入院活動を表す指標 (一般、回復期、緩和ケア) 4: DPC (I) (II) での退院患者割合 5: 重症度、医療・看護必要度 6: 診療科別紹介受入件数	1: 地域連携課月報 2: 地域連携課月報 3: 病棟診療委員会報告 3: 病棟診療委員会報告 3: 病棟診療委員会報告 3: 病棟診療委員会報告 4: 病棟診療委員会報告 5: 病棟診療委員会報告 6: 地域連携課月報	3996台 (1日10.9台) 1466人 (1日4人) 予約 3813人 (2月) 緊急 4181人 (2月) 67% 25%以上 内科 1951件 外科 整形外科 768件 小児科 408件 婦人科 501件	4380台 (1日12台) 1825人 (1日5人) 一般病棟 入院数 750件 回復期 占床率 95% 回復期 平均在院日数 57日 緩和ケア 占床率 58% 緩和ケア 平均在院日数 18日 70%以上 27%以上 内科 2048件 外科 整形外科 785件 小児科 420件 婦人科 510件 2016年度の改善数を上回る
	救急、時間外でも、初期診療を受けられる	1: 患者満足度調査改善項目数 2: 人工股関節、膝関節の手術数 3: 行政、関係機関と連携した多問題事例件数 4: 産婦人科・小児科の生活問題を支援した数 5: 経済的困難事例を支援した数	1: 医療福祉生協連アンケート結果 2: 手術室運営委員会月報 3: 総合サポートセンター月報 4: ①C3 精神科カンファレンス数/②C3小養育支援連絡票 5: 総合サポートセンター月報	THA 281件/ TKA 159件 THA+TKA10件、 再置換15件 ①8回②0枚 生保申請65件、 無低4件	2016年度の改善数を上回る 2016年度数値を上回る ①12回②6枚
	勤務するスタッフが安心して患者を受け入れられる仕組みや体制を作る (チーム力を高める)	1: 高齢者の抑制率 (加算算定した人の減算率を減らす) 2: 患者の生活問題を記載した文書・サマリーを発行した数 3: 紹介率/逆紹介率 4: 予定外の再入院率 5: 低栄養者への介入率 6: クリニカルパス適応率 7: 退院支援加算算定数 8: 介護連携支援加算算定数	1: 認知症ケアチーム報告 2: 診療情報室カウント数 3: 地域連携課月報 3: 地域連携課月報 4: 病棟診療委員会報告 5: NST会議報告 6: クリニカルパス委員会報告 7: 経営月報 8: 経営月報	70% 2017年度初測定値 41.06% 19.53% 1.40% 2017年度初測定値 45.60% 995件 (2月まで) 429件 (2月まで)	60%以下 45%以上 25%以上 1.4%以下 49% 1920件 (月160件) 504件 (月42件)
	救急を支える医師、メディカルスタッフを育成する	自らの気づきを発信し解決しようとする組織風土を醸成し、部門間・職種間のコミュニケーション、問題解決できる力を高める。	1: 救急対応訓練の参加職員数 2: 倫理ガイドラインを活用して集団的にカンファレンスをした数 3: 『グッジョブ! 職員』の表彰数 4: 職員満足度調査結果 5: 研修医記録の指導数 6: 認知症サポーター (オレンジリング) 新規受講者数	1: 救急診療委員会報告 2: DWHからの算出 3: 教育委員会報告 4: QMセンターアンケート 5: 医師初期研修委員会 6: 認知症ケアチーム報告	29講義/323人 2017年度初測定値 2017年度初測定値 働いてよかった80.7% 2017年度初測定値 100名
社会貢献の視点	社会情勢を学び、職員一人ひとりが主権者として社会に働きかける。	1: 社保活動に参加した職員数 2: 社保カンパ達成率	1: SHJ委員会報告 2: SHJ委員会報告	236名 91.30%	350名 100%
	地域との共同で、防災の意識や環境問題への関心を高め住みやすいまちづくりに貢献する。	1: 防災訓練、緊急事態訓練、防災教育等に参加し、訓練を受けた職員数 2: 環境情報記録数 3: 環境目標項目(電気使用量、CO ₂ 排出量)の追跡	1: 防災対策委員会報告 2: 省エネ対策推進委員会報告 3: 省エネ対策推進委員会報告	83通 県基準	2016年度参加者を上回る 94通 (1部門2通) 県基準

ミッション	救急医療、がん診療を重点に急性期病院としての力を強めるとともに、地域医療を担う人材を育成する。
ビジョン	①救急医療の拡充を図るとともに、がん診療指定病院として一つ上の水準を目指す、あわせて災害拠点病院に準ずる備えをもつ。 ②より総合性と専門性を高め、医療の質の向上と医師養成を一体的に取り組む。 ③健康の社会的阻害要因（SDH）の視点を日常診療に活かし、ヘルスプロモーションに取り組む。 ④4つのセンターを軸に、チーム医療のレベルアップを図り、職員が学び成長する働きやすい病院となる。

	戦略目標	重要成功要因	評価指標	評価指標の定義と算出部門	2016年度現状値	2017年度目標値
強い医療生協を作る視点（F）	がん診療の件数が増える	がん診療指定病院として、がん検診後のフォローを丁寧に行い、当院で治療を受けられる患者を増やす。	1：がん治療目的の紹介件数 2：がんの手術件数（肺、胃大腸、乳、肝胆膵） 3：がん検診のフォローアップ件数 4：内視鏡治療検査数の増加	1：地域連携課月報 2：手術室運営委員会報告 3：健康増進センター報告 4：内視鏡室月報	1169件 2：肺 22件 2：胃 34件 2：大腸 106件 2：乳 40件 2：肝胆膵 29件 2017年度 初指標	1200件以上（月100件） 2016年度件数を超える 2017年度 初指標 2016年度数値を超える
利用者の要望の視点（C）	がんについての治療や相談を受けられることができる	住み慣れた地域で、がんに関する治療、療養・生活の相談ができ、自分で治療を選択できる情報が得られる。	1：がんに関わる公開講座開催数と満足度 2：がん相談件数 3：デシジョンエイドを導入した説明・同意書数 4：緩和ケア病棟満足度調査 5：がん治療を終了した院所へ直接報告した数	1：がん診療委員会報告 2：総合サポートセンター月報 3：QMセンター報告 4：緩和ケア病棟報告 5：地域連携課で集積	1回／満足度評価は未実施 430件（36件／1ヵ月） 2017年度 初指標 2017年度 初指標	3回／1200件（100件／1ヵ月） 2017年度 初指標 2016年度課題を克服する年間20例
確かな仕事づくりの視点（P）	他院との連携でスムーズな治療や療養の継続ができる仕組みを作る	多職種同士のシームレスな連携により集団的に治療が検討され、患者の生活を支える治療を行う。	1：専門外来での気になる患者の介入数 2：がん患者の生活問題への介入数（喫煙/飲酒） 3：がん術前からメディカルスタッフが介入した件数（リハビリ、管理栄養士、歯科衛生士） 4：がん症例検討数と院外医師の参加者数	1：外来Ⅱ気になるノートから算出 2：HPH項目より 3：DWHより算出 4：医局での集積	2017年度 初指標 喫煙 95%/74% 飲酒 94%/67% 2017年度 初指標 2017年度 初指標	2017年度 初指標 喫煙 95%以上/80%以上 飲酒 95%以上/70%以上 リハビリ 術前介入 60% 管理栄養士 術前介入 50% 歯科衛生士 術前介入 80% 1回／複数名
育ちあいの視点（E）	がん診療に対応できる職員集団を作る	がんの集学的治療について全職員が理解し、展開され、がん診療のレベルアップを図る。	1：緩和ケアの学習会開催数／参加人数 2：がんまつわる研修に参加した職員数 3：終末期に関する学習会開催数／参加者数	1：がん診療委員会、緩和ケアチーム報告 2：総務課、研修出張報告一覧 3：担当委員会報告		年1回以上 2016年度数値を超える 年1回以上
その他の課題	大規模リニューアルに向けて、病院の力を充填する。	1：必要な施設設備改修を行う 2：病院の魅力を伝える2525（ニコニコ）記念企画を開催し、広報を展開する。				

4. 2017年度活動報告・主要行事

(1) 本年度の入職受け入れ

4月3日に法人全体の新入職員の入職式を行い、2日間の入職時研修の後、4月5日から各事業所に配属となりました。埼玉協同病院には53名の新入職員が配属になりました。新入職員の内訳は、初期研修医7名、薬剤師2名、保健師4名、助産師1名、看護師25名、診療放射線技師1名、理学療法士4名、作業療法士4名、社会福祉士1名、介護福祉士1名、事務総合職3名です。初期研修医は定数どおりのフルマッチでした。

また、既卒の医師5名(脳神経外科医1名、眼科医1名、消化器内科後期研修医1名、家庭医後期研修医1名、産婦人科後期研修医1名)を迎えました。

食養科は、4月5日に今年の新入職員向けに「時間がなくても簡単に野菜を取れるパスタやサラダ」をテーマに料理実習を行いました。30人の新入職員がバランス良く手軽にできる調理のポイントを先輩調理師から学び、実際につくって美味しく食べました。

今年度から看護職員の新入職員研修は、技術トレーニングなどの集合研修の後、8グループに分かれて看護職場のローテーション研修(13看護部門すべてを回り、職場の雰囲気や学ぶべき内容を把握する研修)を実施してから、5月29日に配属先に分られました。同期の仲間意識が育ちました。

(2) 二つの第三者評価受審

今回で5回目となる病院機能評価機構の訪問審査と3回目となるNPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による「卒後臨床研修評価」の訪問審査を12月に受審しました。

医療機能評価機構の審査に向けて、評価基準に沿って業務の見直しを行い、医療の質やチーム医

療のレベルアップを図る機会と考え、1年以上、さらなる業務整備等に取り組んできました。当日は、書類の審査や院内の実地視察、審査員との面接調査などが行われました。最後の講評では、今すぐ改善が必要と指摘されたことはなく、「すべて適切かそれ以上です」と評価され、地域に向けての積極的な教育啓発活動を行っている点などが高い評価を受けました。病院機能評価(3rd G: Ver.1.1)の評価結果は、Sが6項目、Bが1項目、他の項目はAとなり、認定されました。

卒後臨床研修評価では、3人の審査員が当院を訪れ、実際に行われている医師の初期研修の状況などを審査しました。当日の講評では「全体的に前回受審時より改善している」等の評価に加えて、特に研修医インタビューでは「とにかく明るく、病院が大好きで、後輩にもぜひ勧めたい」と研修医が育っていることを確認できたとの評価を受けました。JCEPの評価結果として、4年の更新が認定されました。

(3) 医療生協さいたま合併25周年記念企画

今年は「医療生協さいたま」が合併により誕生してから25周年になることを記念して、埼玉協同病院では各種の市民公開講座を開催しました。7月15日は「中年期以降の膝・股関節痛について」と題して整形外科医師による講演会をイオンモール川口前川店サイボーホールで開催しましたが、用意した座席を上回る400人を超える参加がありました。講演会終了後には、リハビリスタッフ、整形病棟看護師による個別相談会が行われました。

また、11月24日には、同じ会場で「にこにこ市民健康講座」を開催しました。会場には116名の住民の方々が訪れ、前半は川口歯科医師会渡辺会長による「お口の健康」のお話など、健康づく

りの専門家のリレートークを聞き、後半は医師をはじめとする40名の職員で準備をした「あるく、しゃべる、たべる」をテーマにした体力測定、食事、禁煙、アルコール、動脈硬化、体操、健康・介護相談などの各種のブースに参加しました。

1月はがん診療の市民公開講座として、川口フレンドシアにて「がんと仕事の両立セミナー」と題して社会保険労務士の方に、活用できる制度と職場とのコミュニケーションの取り方について講演いただきました。2月には、ふれあい会館で、「認知症市民公開学習会」を開催しました。実際にご自身の困っていることなど、予想以上に多くの質問が寄せられていました。

(4) 開院以来2万5千例目の赤ちゃん誕生と子育て支援

1月10日、埼玉協同病院で2万5千例目の赤ちゃんの誕生を祝う会が産婦人科病棟で催されました。増田院長からのお祝いの言葉に続いて、記念品が贈呈されました。

1月の子育て教室は、雪の影響もあり、欠席も多かったのですが、16組の親子と父親1名が参加しました。保育士による「親子ふれあい遊び」を行い、グループで「乳幼児期の食事」について困っていることや質問を話し合った後、管理栄養士からの話を聞きました。また、「子育てわいわいサークル」の先輩ママさんも参加し、サークル活動を紹介しました。

2月に、病院職員で産休中の方を対象にした育児教室を開催しました。10組の親子が参加し、赤ちゃんマッサージやふれあい遊び、復帰に向けての話（生活リズムや手続き）を聞くとともに、実際に離乳食を食べて固さや形態などを実感しました。また、育児の悩みなどを話し合いました。「このような機会に他のママと話ができて、とても気分転換になった。復帰に向けての準備、イメージがわかりました」などの声が多くありました。

3月の子育て教室は、15組の親子が参加しまし

た。保育士の指導のもと「親子ふれあい遊び」を楽しんだ後、小児科医師からの「子どもの病気とみんなで子育て」と題したお話を学びました。

(5) 未来の医療従事者を育てる取り組み

今年も多彩な医療体験を実施してきました。7月は「ふれあい看護体験」に29名が参加し、8月に6日間計10回開催した看護体験では総計284名の参加がありました。そのうち1回は男子高校生のためだけにメンズデーを開催し、男性看護師が対応し座談会を企画しました。看護学校受験のための模擬面接体験では104名の参加がありました。来春入職予定者の2名の看護学生が参加して受験のアドバイスをしました。

夏休み期間に行われた高校生の「薬剤師一日体験」には23名が参加しました。薬を調剤する実体験のほかに、薬剤師の病院での仕事や役割について話を聞いて懇談しました。

恒例の夏休み「医師一日体験」に加えて、9月に医学部を目指す高校生のための模擬面接会を実施しました。11人の高校生に研修医2人、看護長2人が二手に分かれて模擬面接を行い、その後、4人の現役医学生が参加者と受験や学生生活について交流したことで、医学部受験に向けて気持ちが高まるたいへん良い機会になったようです。

11月は、川口市立北中学校1年生4名が「きらり川口 夢わーく」として職業体験をしました。感染対策学習、介護体験（回復期リハビリテーション病棟）、研修医との懇談、総務課、リハビリテーション技術科、検査科、放射線画像診断科、ME科、食養科、保育所の職場訪問、「命の授業」（産婦人科病棟）、看護師体験を行いました。中学生からは「協同病院に来て、たくさん仕事をさせてもらって、仕事の種類がたくさんあることがわかりました」「私は協同病院で生まれて、ずっと助産師さんと年賀状のやり取りをしていて、私も将来助産師になりたい」などの感想をいただきました。

埼玉県民の日には、看護・医療技術職見学体験

会を開催しました。近隣の高校に呼びかけ27名の高校生が参加しました。参加した高校生からは「実際に働いている現場を見させていただき、本当に勉強になりましたし、将来についてもとても参考になりました」などといった感想をいただきました。

(6) 震災支援と災害対策の取り組み

今年度も毎月第4金曜日に岩手県で取り組まれている「いわて生協・ふれあいサロン」支援ボランティアに、埼玉協同病院から薬剤師、看護師、事務職員の計7名が参加しました。長引く仮設住宅生活ですが、2018年には閉鎖される仮設住宅もあるということです。参加者は「空き家も目だってくる中で、残られている方々にとって継続したサロン開催は励ましになっていると感じた」「ここを離れたとしても、ふれあいサロンに参加したいとおっしゃる方が多く、この活動が人々の活力になっていることに感動した」と報告しています。

2月4日、加須市において福島県双葉町から委託された甲状腺エコー検診を実施しました。49名が受診しましたが、毎年少しずつ減っているのが実情です。子どもたちの生活環境が変化し継続していく難しさを感じます。

10月15日、あいにくの雨でしたが、北スポーツセンターの体育館で行われた神根連合町会の防災訓練に、昨年に続き埼玉協同病院の救急診療委員会と防災対策委員会のメンバーが参加して、救命訓練のブースを担当しました。今年も北中学校の生徒さんが先生の引率で参加されていました。

11月には、大規模災害を想定したトリアージ訓練を参加者62名にて取り組みました。前半はグループに分かれて机上訓練を実施し、START法による患者の振り分け、タグの流れ、トランシーバーの使用方法について確認をしました。前半に机上訓練を行うことにより、後半の現地訓練をスムーズに行うことができました。今回は30名の職員が患者役を務め、多様な状況に対応する訓練

となりましたが、昨年よりも迅速に対応することができました。1月の後期総合防災訓練では、火災発生を想定した初期消火訓練とその後の避難誘導班活動に総勢45名で取り組みました。

(7) 地域との医療・介護連携

10月に、34回目となる地域医療懇談会を開催しました。これまでで最多の59医療機関（行政機関含む）102名の参加がありました。川口市医師会の鹿嶋会長よりご挨拶をいただき、埼玉協同病院の山田医長、土佐医長より総合内科の症例報告をさせていただきました。

また、11月には緩和ケア病棟の地域連携カンファレンスが開催されました。緩和ケア病棟をご利用いただいている近隣のクリニックや病院、訪問看護ステーションから10名の医師、看護師等が出席され、紹介いただいた事例について話し合いました。より良い緩和ケアを目指して様々な学びがありました。

1月には、神根・神根東地域包括ケアステーション管轄内の施設・病院・訪問看護ステーションの看護師交流会が初めて埼玉協同病院を会場に開催されました。19名の参加者で交流し、「顔の見える関係が連携をスムーズにすることを実感しているので良い機会となった」との感想がありました。同じく1月に、埼玉協同病院で感染防止対策の地域連携共同カンファレンスを開催しました。今回初めて介護施設にも参加をご案内したことで総勢100名を超える参加者となりました。グループに分かれて「感染症、薬剤耐性菌についての正しい知識と相互理解～医療機関と介護施設のよりよい連携を求めて～」をテーマに交流しました。2月の感染防止対策地域カンファレンスでは、連携施設（2施設）の医師や看護師・薬剤師など医療従事者9名にご参加いただき、当院で新しく導入したマトリックス支援レーザー離脱イオン化飛行時間型質量分析法による微生物同定システムの紹介と「感染症・耐性菌についての正しい知識と相互

理解」について、各施設の現状や問題、解決策について話し合いました。

こうした地域の医療機関、介護事業所との懇談会が2017年度も様々に開催されています。

(8) 難民・外国人の医療支援

1月28日に、埼玉協同病院を会場にして、今回で3回目となる「外国人無料健康相談会」が取り込まれました。参加者数は健診実施者99名、相談のみ含め101名でした。クルド人、ベトナム人を中心にアジア各国の方々が来院し、健診のほか社会保障や法律の相談が行われました。フードバンク団体からお米と飲み物、衣類が無料で提供されました。埼玉協同病院からは副院長など医師2名、社会福祉士3名、健診スタッフが参加しました。

2月には全職種参加で「言葉が通じない外国人の意思決定支援をどのように行っていくかを考える」をテーマに、問題の背景を探りながら意見交換をしました。日頃から外国人対応について悩みながら取り組んできたことを、多職種で考える機会を初めてもち、特に困窮している外国人の実情を健康の社会的決定要因(SDH: Social determinants of health)の視点から生活背景を知る必要を学びました。そこで、3月に難民支援協会定住支援部コーディネーターの鶴木由美子さんを講師に迎え、難民問題学習会を開催し、外国から避難されている人々の状況やその背景を学びました。院外からも14名(川口市保健センター9名、川口市立医療センター3名、川口工業総合病院2名)の方が参加され、関心の高さが窺えました。

(9) 本年度お迎えした外国からの見学

9月に、韓国の釜山近郊・昌原市にあるファティマ病院からの見学を受け入れました。埼玉協同病院と老健施設みぬまの施設見学とともに、柳埼・芝北両支部合同で取り組んでいる安心ルームに伺

い交流しました。10月には、モンゴルの首都ウランバートルにあるエネレル歯科からの視察を受け入れました。

(10) 2017年度に始めた新たな取り組み

今年も新しい取り組みをいくつも始めました。

小児虐待対策チームを発足させました。「小児虐待をみんなで考えてみよう」というテーマの学習会を開催し、基礎知識から関わり方の模擬演習、今後の取り組みについてなどを学びました。

また、精神科リエゾンチームが発足しました。「精神科リエゾンチームの役割と機能について」の学習会を開催し、医師から精神疾患への対応、判断力をつけるための学習と保健師から精神科リエゾンチームの機能について解説を受けました。3月には、精神科リエゾンチーム主催の「サインに気づけ! ~院内自殺予防について~」と題する学習会が行われました。さらに、総合サポートセンター主催で講師に県立精神医療センターの療養援助部主任・山縣精神保健福祉士さんを迎え「アルコール依存症の治療と地域の連携について」をテーマにした学習会が開催されました。

フードバンクに取り組み『フードバンク埼玉』に登録しました。患者、組合員、職員から、お米、レトルト食品、飲み物、缶詰、お菓子など多くの食料品が寄せられました。病院の窓口で、困窮して食品を必要としている患者さんが現れたら、直接食品の提供をすることが可能になりました。

今年度、独自の「患者満足度アンケート」を実施しました。これまでは連合会が製作した全国共通のアンケートを実施していましたが、より医療の質やサービスの改善に向けた課題を具体的に把握できるものとししました。医療の質をさらに改善するための意見交換・交流検討の場として毎年行っている医療の質改善(QI)交流会で、アンケート結果の分析を報告しています。あわせて12月6日から「虹の投書箱」の毎日開封を始めました。これまで週に一度でしたが、投書をされたタイミ

ングに合わせて受け止めるために毎日開封としました。

施設の改修では、産婦人科病棟のシャワー室、トイレなどのアメニティを改善しました。また、11月より産婦人科病棟にて売店のワゴンサービスを始めました。毎日午後の時間帯に入院患者さん向けに飲料水、お菓子類、日用雑貨、雑誌などを販売しています。また、新しい高機能のMRI（2台目3.0T）が稼働しました。検査の待ち時間短縮が図られています。D館とF館の照明をLEDに切り替える工事を実施しました。省エネと二酸化炭素の排出抑制のために、これまでもLED化を進めていましたが、残っていた通常の照明を切り替えました。

(11) 埼玉協同病院名誉院長の肥田舜太郎先生がお亡くなりになりました。

3月に埼玉協同病院の初代院長で医療生協さいたまの名誉理事長である肥田舜太郎先生が100歳でお亡くなりになりました。広島で軍医として自ら被ばくしながら被災者の診療に携われ、以来被ばく者医療に尽力されるとともに低線量被ばくの恐ろしさを世界各国で訴えながら核兵器廃絶の運動に取り組んでこられました。5月7日に偲ぶ会が催され、450名の方にご列席いただきました。

5月に、埼玉県被ばく者協議会（しらさぎ会）理事で元看護師の服部道子さんをお招きして、今年の新入看護職員に「あの日、あのとき、広島で」というテーマでお話をしていただきました。1945年8月6日に看護職員として勤務していた広島での体験を踏まえ「看護職が考えなければいけない命の重み、これからの看護職員に伝えたいメッセージ」を語られました。

9月に開催した原水禁大会報告集会では、第1部でニューヨークの国連行動に参加した忍医局長による「核兵器禁止条約交渉会議に参加して」の講演に学び、第2部では原水禁長崎大会に参加した職員が学んだこと等を報告しました。

私たちは肥田先生の遺志を受け継ぎ、核兵器のない真の平和な世界を創るため、被ばくの実相を学び、語り伝えていきます。

(12) 2017年度の経営の到達

2017年度の決算結果は、年間累計で1億2500万円の経常赤字となりました。累計事業費用は前年度から2億2000万円増えましたが、ほぼ予算通りでした。一方で、累計事業収益は前年度より4000万円増収とできましたが、予算には2億2000万円届かず収益不足でした。

入院収益は前年実績を7000万円上回る増収でしたが、予算には1億7000万円の不足、外来収益は前年実績から2300万円減少し、予算に3400万円の未達でした。健診収益は前年実績、予算ともに超過して増収とすることができました。

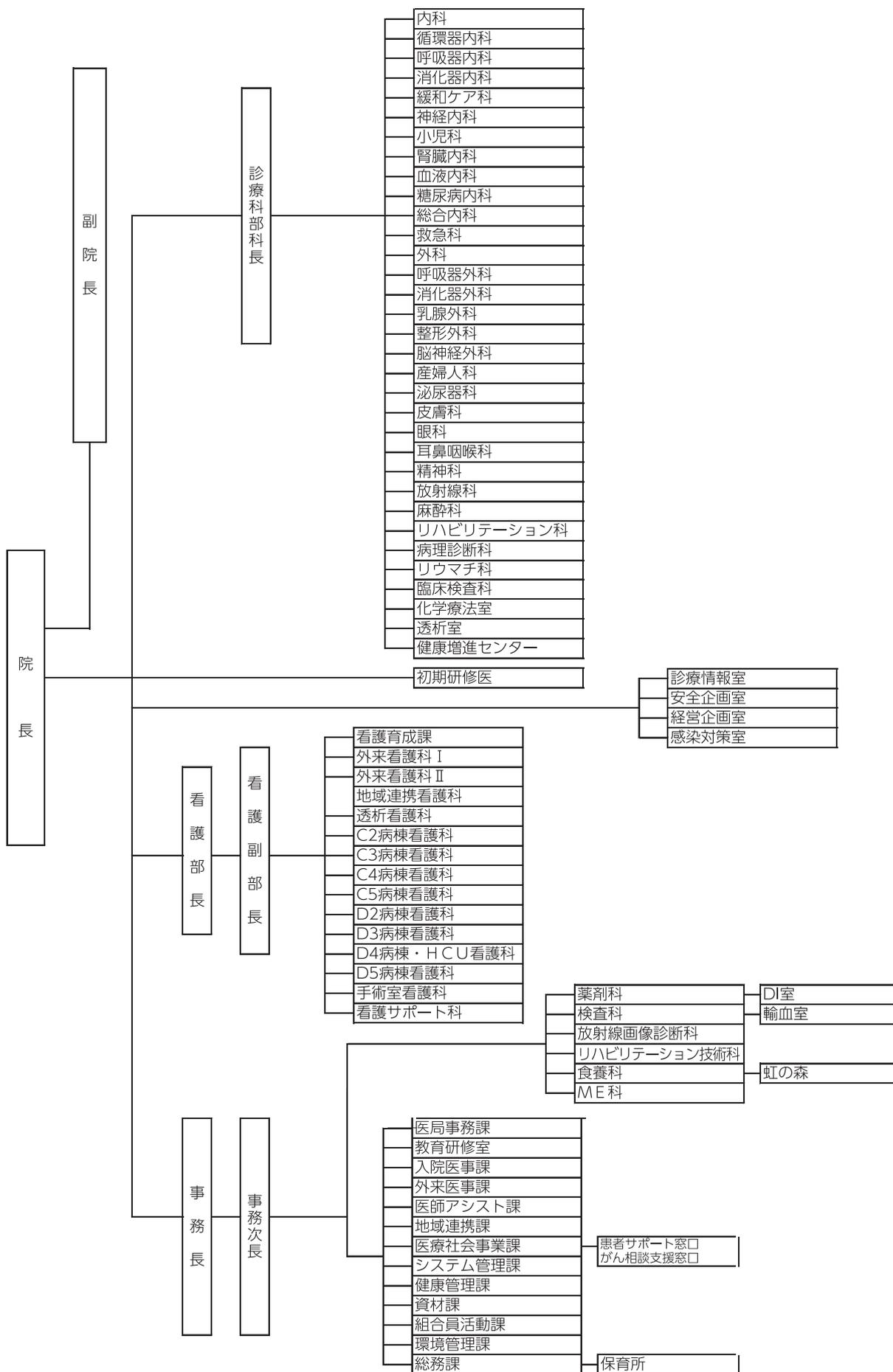
入院ではDPC入院期間IⅡでの退院割合が70%を超えることを指標としてクリアできましたが、経営的に必要な病床稼働にふさわしい新規入院数を確保することができず収益不足となりました。救急搬入数は2016年度を上回り、過去最高の4081件の受け入れをすることができました。また、法人外からの紹介による外来・入院患者数がいずれも過去最高となりました。引き続き、地域医療の期待に応えつつ、経営改善に取り組めます。

2017年度 主要行事

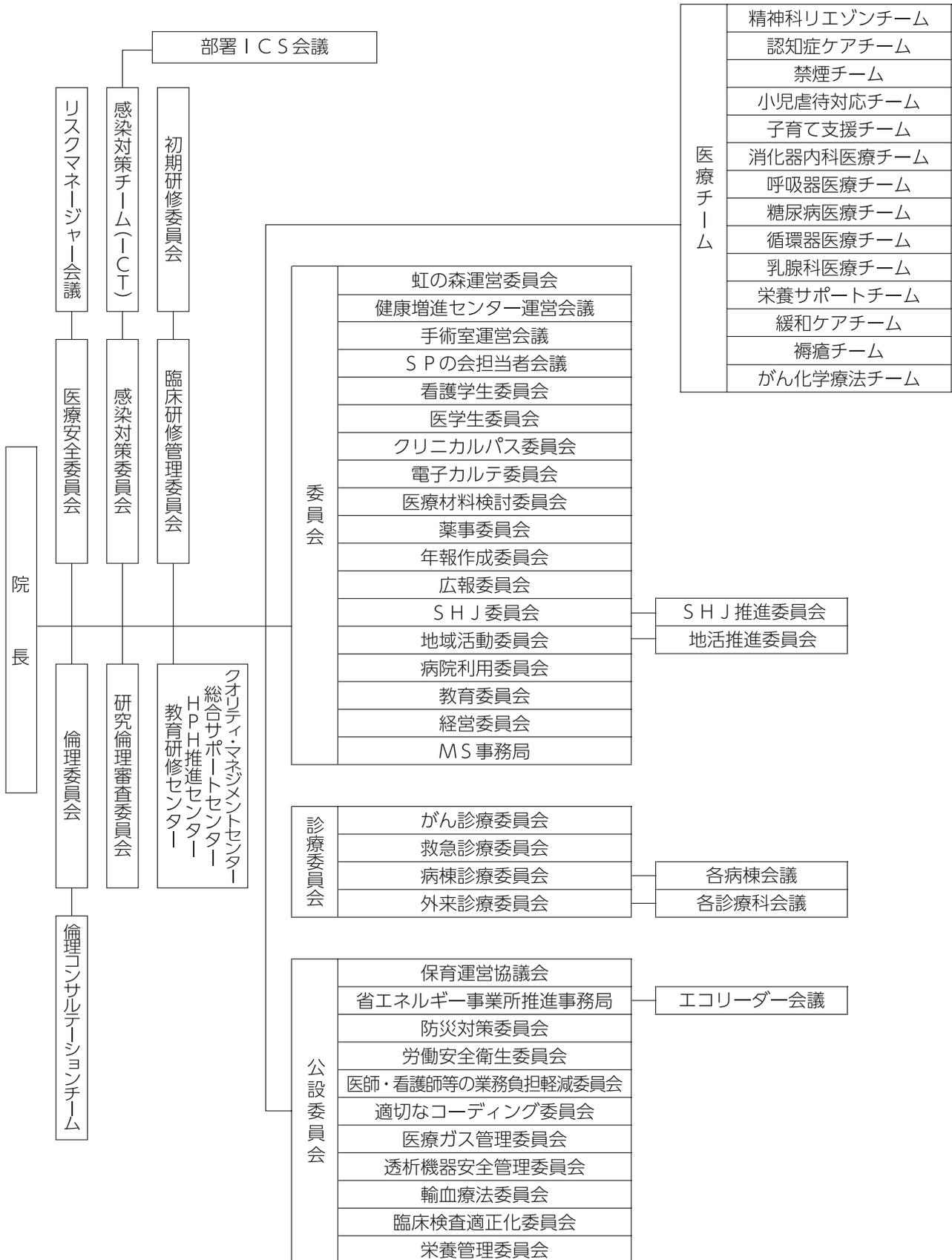
月 日	行 事	月 日	行 事
4月 5日	新入職員オリエンテーション	10月 2日	看護部業務量調査
11日	WHO世界保健デー	4日	外来満足度調査
23日	ウォークフェスタ	7日	癒しのイベント (川口北高校吹奏楽部)
5月 1日	メーデー集会	13日	精神科リエゾンチーム学習会
19日	南部A B地区別総代会議	15日	神根地区防災訓練
30日	WHO世界禁煙デー	16日	第2回マネジメントレビュー
6月 1日	手指衛生 AWARD	18日	I S O維持審査 (～19日)
1日	内部監査オープニング会議	21日	トリアージ訓練
2日	寺澤先生救急カンファレンス	25日	手指衛生 AWARD 報告会 ボランティア大学集会
7日	防災学習会 (19日)	11月 2日	つくし保育園パネルシアター 獨協医科大学埼玉医療センター 連携の会
10日	I C L S 講習会	5日	健康フェスタ in さいたまスーパーアリーナ
18日	片山先生総合内科カンファレンス	8日	川口北中学校「きらり川口夢ワーク」
7月 5日	川口市立医療センター連携の会	9日	川口市まちなみチェック懇談会 緩和ケア病棟地域連携カンファレ ンス
7日	さいたま市立浦和高校医療ゼミ	16日	地域別総代・支部代表者会議
15日	市民公開講座	18日	トリアージ訓練
24日	第1回マネジメントレビュー 脳いきいき教室インストラクター 養成講座 高校生一日医師体験 (26日)	24日	にこにこ市民公開講座 子育て教室
25日	保健所立ち入り検査	28日	戸田中央総合病院地域連携の会
28日	感染防止地域連携カンファレンス 看護体験	12月 9日	I C L S 講習会
8月 1日	看護体験(3日、8日、18日、30日)	13日	医療機能評価受審 (～14日)
4日	倫理学習会「家庭内暴力DV」	17日	県連学術運動交流集会
17日	高校生一日体験 (薬剤)	19日	J C E P 受審
28日	脳いきいきインストラクター交流会	21日	卒2臨床研修発表会
9月 8日	原水爆禁止世界大会報告会	27日	忘年会
14日	学習会「患者の権利とは何か」		
25日	前期総合防災訓練		

月	日	行 事
1月	11日	内部監査オープニング会議
	24日	後期総合防災訓練
	26日	社保長・SHJ共催憲法カフェ 片山先生総合内科カンファレンス
	28日	北関東医療相談会 (外国人無料健康診断)
	30日	感染地域連携カンファレンス
2月	4日	福島県双葉町甲状腺検診
	7日	支部医療懇談会(8日、9日、15日、17日、19日、20日、22日、24日、26日、27日、28日、3月6日)
	9日	看護部学習会
	15日	Q I交流会 内部監査クロージング会議
	18日	埼玉民医連看護学会
	24日	認知症ケア学習会
	28日	感染防止対策地域個別カンファレンス 全職種参加型症例検討会
3月	1日	県立小児医療センター連携の会 高校生一日看護体験(2日、26日)
	5日	RM交流集会
	9日	フレイルチェックサポーター養成講座(30日)
	15日	卒1臨床研修発表会
	19日	第3回マネジメントレビュー
	22日	予算検討会
	24日	看護内定者入職前オリエンテーション ション
	25日	県連大会
	30日	細川先生感染症カンファレンス

5. 組織図



6. 委員会等組織図



7. 施設基準

基本診療の施設基準

一般病棟入院基本料（7：1入院基本料）
 ハイケアユニット入院医療管理料 I
 回復期リハビリテーション病棟入院料 2
 緩和ケア病棟入院料 I
 診療録管理体制加算 I
 医師事務作業補助体制加算 15 対 1
 急性期看護補助体制加算 25 対 1 5 割以上
 夜間急性期看護補助加算 100 対 1
 看護職員夜間配置加算 16 対 1
 療養環境加算
 重症者等療養病棟療養環境特別加算
 栄養サポートチーム加算
 医療安全対策加算 I
 感染防止対策加算 I
 患者サポート体制充実加算
 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 ハイリスク妊娠管理加算
 ハイリスク分娩管理加算
 総合評価加算
 呼吸器ケアチーム加算
 後発医薬品使用体制加算 I
 病棟薬剤業務実施加算 I
 データ加算 2
 退院支援加算 I
 認知症ケア加算 2

特掲診療料の施設基準

糖尿病合併症管理料
 がん性疼痛緩和指導演料
 がん患者指導演料 1・2
 糖尿病透析予防指導演料
 院内トリアージ実施料
 ニコチン依存症管理料

開放型病院共同指導料
 地域連携診療計画退院時指導料
 肝炎インターフェロン治療計画料
 薬剤管理指導料
 医療機器安全管理料 I
 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者
 訪問看護・指導料
 HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノ
 タイプ判定）
 検体検査管理加算（I）
 検体検査管理加算（IV）
 皮下連続式グルコース測定
 コンタクトレンズ検査料 I
 小児食物アレルギー負荷検査
 センチネルリンパ節生検（片側）
 画像診断管理料 I
 画像診断管理料 II
 遠隔画像診断
 C T 撮影及び MR I 撮影
 冠動脈 C T 撮影加算
 心臓 MR I 撮影加算
 乳房 MR I 撮影加算
 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
 外来化学療法加算 I
 無菌製剤処理料
 脳血管疾患等リハビリテーション料（I）
 運動器リハビリテーション料（I）
 呼吸器リハビリテーション料（I）
 がん患者リハビリテーション料
 精神科デイケア「小規模なもの」
 精神科ショートケア「小規模なもの」
 透析液水質確保加算 2
 下肢末梢動脈疾患指導演料加算
 乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節

加算1)

ペースメーカー移植術・交換術

大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)

体外衝撃波胆石破碎術

腹腔鏡下肝切除術

体外衝撃波膵石破碎術

腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術

早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術

体外衝撃波腎・尿管結石破碎術

輸血管理料Ⅱ

輸血適正使用加算

貯血式自己輸血管理体制加算

人工肛門、人工膀胱造設術前処置加算

麻酔管理料Ⅰ

麻酔管理料Ⅱ

7. 未熟児養育医療機関

8. 救急告示病院

9. 指定自立支援医療機関 (精神通院医療)

10. 指定自立支援医療機関 (育成医療・更正医療)
腎臓に関する医療

任意機関施設認定一覧

1. 日本医療機能評価機構認定

2. ISO 9001:2008 / ISO 14001:2004
登録

3. マンモグラフィ検診施設画像認定

4. 卒後臨床研修評価機構認定

5. 医療被ばく低減施設認定

その他届出

入院時食療養 (Ⅰ)

臨床研修病院入院診療加算

救急医療管理加算

妊産婦緊急搬送入院診療加算

重症皮膚潰瘍管理加算

がん診療連携拠点病院加算

小児科外来診療料

夜間休日救急搬送医学管理料

がん治療連携管理料

経皮的冠動脈形成術

経皮的冠動脈ステント留置術

手術の通則5及び6に掲げる手術件数

公的機関施設認定一覧

1. 健康保険 国民健康保険 社会保険 共済
組合

2. 母体保護法指定医

3. 指定医療機関 生活保護法

4. 労災保険指定医療機関

5. 労災保険二次健診等給付医療機関

6. 原子爆弾被爆者指定医療機関

8. 教育研修指定関係

括弧内は認定日

教育研修指定関係

1. 日本内科学会認定制度教育病院 (1992.04.01)
2. 日本小児科学会専門医研修施設 (2003.10.01)
3. 日本皮膚科学会認定専門医研修施設 (1993.04.01)
4. 日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設 (2006.04.01)
5. 日本外科学会専門医制度修練施設 (1988.01.01)
6. 日本整形外科学会研修認定施設 (1989.11.07)
7. 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設 (1997.04.01)
8. 日本病理学会研修登録施設 (1996.04.01)
9. 日本臨床検査医学会認定病院 (2012.01.01)
10. 日本リハビリテーション医学会研修施設 (2005.09.10)
11. 日本血液学会認定血液研修施設 (2002.04.01)
12. 日本糖尿病学会認定教育施設 (2000.11.27)
13. 日本リウマチ学会教育施設 (2010.09.01)
14. 日本消化器内視鏡学会指導施設 (2006.12.01)
15. 日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設 (2012.05.14)
16. 日本臨床細胞学会認定施設 (2003.09.30)
17. 日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設 (2000.12.01)
18. 日本家庭医療学会後期研修プログラム認定 (2009.04.01)
19. 日本がん治療認定医機構認定研修施設 (2010.11.01)
20. 日本胆道学会指導施設 (2014.04.01)
21. 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設 (2015.04.01)
22. 日本麻酔科学会麻酔科認定病院 (2014.04.01)
23. 日本消化器病学会認定施設 (2016.01.01)
24. 日本呼吸器学会認定施設 (2016.12.09)

関連施設

1. 呼吸器外科学会呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医制度関連施設
(2010.04.01)

2. 日本透析医学会専門医制度教育関連施設 (2010.11.26)
3. 日本乳癌学会認定医専門医制度関連施設 (2013.01.01)
4. 日本消化器外科学会専門医制度関連施設 (2013.04.01)
5. 日本肝臓学会専門医制度関連施設 (2014.04.01)
6. 日本小児神経学会小児神経専門医研修関連施設 (2014.10.05)
7. 日本循環器学会認定循環器専門医関連施設 (2017.04.01)
8. 認定輸血検査技師制度指定施設 (2012.4.01)

9. 院内研修会・講演会

院内研修会・講演会一覧表

開催日	テーマ	主催者	講師	参加人数
2017年4月1日	新入職員必須学習「医療安全の基礎知識」	医療安全委員会		84
2017年4月1日	新入職員必須学習「医療事故の法的責任」	医療安全委員会		80
2017年4月5日	医療安全学習			47
2017年4月14日	新入医師オリエンテーション（医療安全）	医療安全委員会	専従医療安全管理者／宮崎	
2017年4月19日	ヒュミラ	外来看護科Ⅱ	薬剤会社	6
2017年4月19日、 7月14日、9月27日、 10月28日	除細動器学習会	ME科	桐生宣侑	26
2017年4月20日	ポトックス	外来看護科Ⅱ	グラクソン	7
2017年4月20日	ヘモダイアルフィルター マキシフラックス	ME科	ニプロ株式会社 川口	4
2017年4月21日	C型肝炎薬	外来看護科Ⅱ	薬剤会社	12
2017年4月25日	ノーリフト DVD視聴	検査科		22
2017年4月27日	アレルギー学習会	小児科	小児科診療部長／ 和泉桂子	4
2017年5月1日	部署ICS会議	ICS	吉田（感染対策室）	
2017年5月9日	研修医向けME機器学習会	ME科	吉田幸司、桐生宣侑	7
2017年5月16日	DPN（神経伝導検査装置）チェックについて	DMチーム	フクダコーリン 株式会社	9
2017年5月16日	研修医向け血液浄化学習会	ME科	熊谷大樹	7
2017年5月19日	ヴィキラックス配合錠のメーカー説明会	薬剤科薬事DIチーム	アッヴィ	11
2017年5月22日、24日、 26日、6月6日、8日、 16日、20日、7月14日、 8月28日、9月7日	「入院インスリン使用者のチェックシート」	DM医療チーム	福島やよい	14
2017年5月24日	屋外歩行訓練救急対応方法	リハビリテーション技術科	部門リスクマネ ジャー／宮崎葉	49
2017年5月25日、 10月19日	歯科衛生士向けME機器学習会	ME科	桐生宣侑、 青木奎介	
2017年5月26日	採血について	外来看護科Ⅱ	臨床検査技師／池田	12
2017年5月29日、30日、 31日、6月2日、5日、 6日、7日、9日、19日	部門RM事例分析研修①	医療安全委員会	専従医療安全管理 者／宮崎	59
2017年5月30日	AEXジェネレーター学習会	ME科	村上雅宣 （メドトロニック）	15
2017年5月30日	化学療法について	外来Ⅱ学習係	看護師／内川	13
2017年6月1日	手指衛生AWARDキックオフ集会	感染対策委員会	鈴木明子 （城西国際大学）	142
2017年6月1日、 7月27日	病棟ドリップアイ学習会	ME科	南 優花、 藤本政幸（ME科）	17

開催日	テーマ	主催者	講師	参加人数
2017年6月3日	認知症の基礎知識と認知症の人のこころ	県連検査部会	認知症介護指導者／山田 茂ホーム長	23
2017年6月5日	在宅人工呼吸器学習会	ME科	チェスト株式会社	11
2017年6月6日、9日、12日、14日、19日、7月19日、24日、26日、28日、11月7日	感染対策の基本Ⅰ「手指衛生とPPEの着脱」	感染対策委員会	ICT	402
2017年6月7日、16日	疾患の理解と検査の基本①検査以前の問題	キャリ2委員会	医師／村上純子	34
2017年6月7日、19日	初期消火学習	防災対策委員会	防災対策委員会	
2017年6月12日	Zimmerタワー取り扱い学習会	ME科	Zimmer 青木	25
2017年6月13日	血管腫の治療薬について			5
2017年6月16日	DM算定について	専門外来学習係	専門外来事務／吉岡	12
2017年6月16日、11月8日、22日、29日	人工呼吸器学習会	ME科	桐生宣侑、吉川雪子	27
2017年6月20日	ペースメーカー学習会	ME科	SJM、日本メドトロニック	
2017年6月24日	Vigileo取り扱い学習会	ME科	桐生宣侑	13
2017年6月26日	HOT（在宅酸素療法）導入について	ME/D5	篠塚陽子（ME科）	11
2017年6月27日	正しい手指衛生の行い方	検査科 医療安全・感染対策チーム	谷内、木元	16
2017年6月28日	診療報酬について	リハビリテーション技術科	外来医事課職員	46
2017年6月28日	嘔吐時の対応について	リハビリ科	佐藤DH	47
2017年6月29日	血液ガスの評価について	呼吸器チーム	原澤医師	62
2017年6月29日、9月13日、14日	統計学講座基本編、演習コース	RIICH	埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科教授／坂井博通	36
2017年6月30日	呼吸リハビリ	外来看護科 学習係	理学療法士／木村さん	12
2017年7月3日	セクシャル・ハラスメントを考える	医療安全委員会	e-ラーニング	771
2017年7月5日、11月7日	BLS学習会	救急診療委員会		11
2017年7月7日、11日、9月4日、15日	感染対策の基本Ⅱ「細菌検査・抗菌薬 編」	感染対策委員会	ICT	92
2017年7月11日、12日、13日、14日	運動教室インストラクター要請	HPH推進センター委員会	リハビリ職員	16
2017年7月12日	D5病棟症例検討会「慢性呼吸不全のリハビリ」	症例検討チーム	医師／高石	
2017年7月12日、14日	疾患の理解と検査の基本②感染症のデータ	キャリ2委員会	医師／村上純子	30
2017年7月13日、24日、26日、27日、28日、8月21日	セーフマスター入力学習会	褥瘡チーム	木村秀実	25

開催日	テーマ	主催者	講師	参加人数
2017年7月14日	終末期の感染症について	学習会係	医師／久志本	
2017年7月15日	2017年度 教育学習月間 大学習会	県連教育委員会・ 県連社保平和委員会	弁護士／堅十萌子 (埼玉弁護士会)	52
2017年7月18日、 19日、20日、 21日	いつでも体操インストラクター養成	HPH推進センター		35
2017年7月18日	小児ADHD薬について	小児科	シオノギ製薬	5
2017年7月19日	D2病棟向けVigileo学習会	ME科	桐生宣侑	9
2017年7月19日	記録の書き方～基礎～	キャリア2委員会	看護副部長／大竹美代、 看護長／高橋恵子	34
2017年7月19日、 21日、26日	エクセル学習会 初心者向け	QMセンター会議	桑田、飯塚、滝本	
2017年7月21日	DMと歯科について	外来看護科Ⅱ	歯科衛生士	8
2017年7月21日	アトピー性皮膚炎について	小児科	小児科病棟医長／ 平澤薫	5
2017年7月25日	分娩監視装置	産婦人科	アトム	13
2017年7月25日	「5S活動」 安全安心な職場をつくるため	検査科	大久保智子	13
2017年7月25日	モンスターペイシエント・クレーマーの対応	外来医事課主任会議	桑田真央	18
2017年7月25日、 9月26日、 11月28日	接遇セミナー	教育委員会	教育委員会	20
2017年7月26日	ボトックスについて	リハビリテーション技術科	グラクソ・スミスクライ ン株式会社	40
2017年7月26日	改めて認知症を学ぶ2017	認知症ケアチーム	医師／萩野(精神科)	33
2017年7月26日	凝固検査学習会	検査科 崎山 恵子	積水メディカル 株式会社	12
2017年7月26日	訓練中の急変時の対応	リハビリテーション技術科	グラクソ・スミスクライ ン株式会社	44
2017年7月28日	B型肝炎薬 ベムリティについて	外来看護科Ⅱ	薬剤会社	11
2017年7月28日	虫歯予防について	小児科	歯科衛生士	5
2017年8月1日	HPH実践交流&国際カンファレンス報告会	法人ヘルスプロモーション 推進委員会		
2017年8月1日	バクリバルーン	C3産婦人科・小児科	萩原	7
2017年8月3日	マスクフィッティング	呼吸器チーム	看護師／上原	12
2017年8月4日	DV(家庭内暴力)について学ぶ	倫理委員会	弁護士／埼玉県男女 共同参画課職員	
2017年8月10日	サルコペニア・フレイル	外来看護科Ⅱ	栄養士／羽染	7
2017年8月14日	DVIについて	C3産婦人科・小児科	村井、亀田	8
2017年8月17日	胸部レントゲンの基礎	呼吸器チーム	亀山(放射線画像 診断科)	21
2017年8月18日	HOT学習会	ME科	南 優花(ME科)	7
2017年8月18日	外国人の方の取り扱い	C3産婦人科・小児科	小松崎	9
2017年8月19日	第2回D5介護者教室	D5病棟 介護者教室チーム	MSW／綿貫広視・ 木村昭子・上田	
2017年8月22日	エムラクリームについて	ME科	扶桑薬品 阿磨	11

開催日	テーマ	主催者	講師	参加人数
2017年8月23日	BLS学習会	リハビリテーション技術科		36
2017年8月25日	ACT測定学習会	ME科	青木奎介	15
2017年8月25日、30日	疾患の理解と検査の基本③腎臓のデータ	キャリア2委員会	医師/村上純子	30
2017年8月29日	トルシシティ web講演会	大日本住友製薬、 外来看護科Ⅱ	奈良県立医科大学糖尿病 学講座教授/石井 均	3
2017年8月29日	憲法カフェNo.11と患者の権利読み合わせ	検査科	大久保智子	
2017年8月31日	BLSブラッシュアップ+フィジカルアセス	キャリア2委員会	寺門妙子、 渡邊千賀子	10
2017年9月6日	在宅酸素と医療制度について	呼吸器チーム	吉田 (ME科)、 MSW/小金澤	12
2017年9月8日	輸血振り返り	C3産婦人科・小児科	清水	7
2017年9月11日	排便コントロールについて	C4 学習会係	疼痛ケア認定 看護師/布川	
2017年9月12日	維持透析の食事療法	ME科	多喜淳夫 (食養科)	11
2017年9月12日	植え込み型心臓モニタについて	ME科	日本メドトロニック 羽生田	7
2017年9月12日、13日、14日、20日、22日、30日、11月20日	フットポンプ使用方法学習会	ME科	スタープロダクト ウケガワ、藤本政幸	64
2017年9月13日、29日、10月13日、23日	疾患の理解と検査の基本④肝臓のデータ (1)	キャリア2委員会	医師/村上純子	54
2017年9月14日	「患者の権利について学ぶ」	倫理委員会	弁護士/牧野丘	40
2017年9月19日、12月21日、22日	リブレ		福島やよい	
2017年9月19日	フットポンプ メンテナンス講習	藤本政幸	鹿角浩史	6
2017年9月19日、26日	医療者が押さえておきたい輸血の必須知識①	輸血療法委員会	木村秀実	10
2017年9月20日	フットポンプ学習会	ME科	藤本政幸	7
2017年9月22日	DVT予防システム勉強会	C3産婦人科・小児科	スタープロダクト 株式会社	8
2017年9月27日	火災発生時の対応	リハビリテーション技術科	佐藤美由紀	43
2017年9月27日	癌性疼痛について	C4 学習会係	疼痛ケア認定 看護師/布川	
2017年9月30日、10月26日、27日	Aライン学習会	ME科	桐生宣侑	27
2017年10月2日	チームSTEPPSを学ぶ	医療安全委員会	e-ラーニング	691
2017年10月3日	ラジオ波焼灼装置 (クールチップ) 取り扱い	ME科		5
2017年10月4日、11月13日、24日、12月4日	認知症サポーター養成講座	認知症ケアチーム	介護福祉士/綿貫	33
2017年10月5日	ICLS持ち帰り学習会	C3産婦人科・小児科	星	7
2017年10月6日	トリアージ学習会	防災対策委員会	医師/守谷	

開催日	テーマ	主催者	講師	参加人数
2017年10月6日	患者の権利実践交流集会	倫理委員会		
2017年10月10日	BiPAP取り扱い	ME科	桐生宣侑	8
2017年10月10日	婦人科A B R 学習会	ME科	アトムメディカル	3
2017年10月11日	フジフィルム ジェット装置学習会	ME科	フジフィルム	11
2017年10月13日	ホルマリンの取り扱い	病理検査	病理技師	6
2017年10月16日	C R R T 膜 (ヘモフィル) 学習会	熊谷大樹	東レメディカル 金井	
2017年10月16日	疼痛コントロールについて	C 4 学習会係	疼痛ケア認定 看護師/布川	
2017年10月19日、 23日	オキシジェンステーションの使い方		サイサン	5
2017年10月20日	看護キャリ2 倫理	看護部	大竹美代	31
2017年10月23日	カテーテルトレーニング学習会	循環器医療チーム	医師/金子 史	
2017年10月24日	認知症 学習会	認知症ケアチーム	薬剤師/中村、MSW /上田、S T/斎藤	24
2017年10月24日、 11月20日	T E -28型輸液ポンプ学習会	ME科	テルモ 吉岡、 藤本政幸	30
2017年10月25日	フジフィルム内視鏡タワー新規購入時学習	ME科	フジフィルム (メーカー)	14
2017年10月25日	医療倫理について	リハビリテーション技術科	遠藤正夫	42
2017年10月25日	手指衛生AWARD報告会・学習会	感染対策委員会	I C T	83
2017年10月25日	正しい手指消毒・マスクの付け方	リハビリテーション技術科	狐塚美幸	38
2017年10月26日	せん妄について	C 4 学習会係	薬剤師/篠田	
2017年10月28日	レンジャー学習会	ME科	桐生宣侑	
2017年10月30日	「今後の細菌検査について」	感染対策委員会	I C D/村上、 臨床検査技師/相原	48
2017年10月30日	人工呼吸器患者のポジショニング	呼吸器チーム	久保寺(リハビリ科)、 菅原(外来看護科)	20
2017年10月30日	薬剤による精神症状発現にどう対応するか	薬剤科	各病棟担当薬剤師	9
2017年10月31日	特定積層型ダイアライザについて/ sepXiris (ヘモフィルタ) について	ME科	バクスター 乾	4
2017年11月6日、 10日、13日、17日、 20日、24日、27日	チームS T E P P S グループワーク	医療安全委員会	宮崎俊子	146
2017年11月7日、 10日	疾患の理解と検査の基本⑥貧血のデータ	キャリ2委員会	医師/村上純子	21
2017年11月8日、 13日、14日、15日、 22日、29日	「冬期に流行する感染症」	感染対策委員会	I C T	182
2017年11月10日	座ってできる筋トレなど(サルコペニア・フレイル予防)	外来看護科Ⅱ学習係	菅原(リハビリ科)	
2017年11月10日	総合内科カンファレンス	教育研修センター SKYMET	医師/片山充哉(亀 田総合病院総合内科)	

開催日	テーマ	主催者	講師	参加人数
2017年11月13日	透析液供給装置学習会	日機装株式会社	降谷	4
2017年11月13日、14日	生体情報モニタPVM取り扱い学習会	ME科	青木 (ME科)	22
2017年11月14日	ホスレノールOD錠について	透析看護科	バイエル	8
2017年11月14日	医療機器チェッカ取り扱い学習会	ME科	日本光電、西口賢悟	11
2017年11月15日	小児虐待をみんなで考えてみよう	小児虐待チーム	小児虐待チームメンバー	18
2017年11月17日	精神科リエゾンチームの役割と機能について	精神科リエゾンチーム	医師/荻野マリエ、保健師/高井	25
2017年11月20日	個人情報保護学習	MS事務局	医師/福庭	35
2017年11月21日、28日	〈看護部対象〉感染対策の基本I 「手指衛生とPPEの着脱」	看護部・感染対策委員会	ICT	38
2017年11月24日	抗生剤について	小児科	松村	5
2017年11月25日	ME向け気管内吸引学習会	ME科	看護師/村上・志村 (C5病棟)	
2017年11月27日	救急向けAライン	ME科	桐生宣侑	7
2017年11月27日	座面センサー学習会	ME科	桐生宣侑	7
2017年11月27日、28日	AED-3100取り扱い学習会	ME科	桐生宣侑 (ME科)	8
2017年11月28日	採血 (技術・接遇) 学習会	小島史子	池田征史	15
2017年11月29日	BLS	リハビリテーション技術科	戸次有希	40
2017年11月30日	保険診療に関する講習	外来医事課・入院医事課	主任/折茂、主任/田中紗代	
2017年12月5日	投薬・注射を確実・安全に実施している状態にするために	薬剤科 野崎拓史	野崎拓史 (薬剤科)	11
2017年12月8日	リブレpro		アボットジャパン	
2017年12月8日、13日	投薬・注射を確実・安全に実施するために	薬剤科	澤辺由美、鈴木日和、牧野太一、井澤茉莉香	54
2017年12月11日	麻酔器学習会	ME科 吉田幸司	田中 (GE)	
2017年12月12日	医薬品による精神神経症状の副作用に注意!	薬剤科	藤田 幸、中村大介、牧野太一、鈴木日和、清水啓之、野崎拓史、寺倉美鈴、栗原ちなみ	105
2017年12月13日	D5症例検討会	症例検討チーム	言語聴覚療法士/遠藤菜子	
2017年12月14日	ヘリオス学習会	ME科	桐生宣侑	10
2017年12月15日	ハイリスク薬と危険薬	薬剤科	中村大介	6
2017年12月15日、20日	疾患の理解と検査の基本⑦凝固系のデータ	キャリ2委員会	医師/村上純子	15
2017年12月19日	一般的な肺炎と間質性肺炎の違いについて	呼吸器チーム	(株) SEKISUI (検査科)	30
2017年12月21日	呼吸器疾患の栄養管理	呼吸器チーム	河口 (食養科)	14
2017年12月21日	スクイーミングについて	小児科	リハビリテーション科	4

開催日	テーマ	主催者	講師	参加人数
2017年12月27日	発達障害について	小児科	秋山	6
2017年12月28日	肥田舜太郎先生DVD「核の傷」			35
2017年12月29日	在宅用PCAポンプ（CADD）の使用方法について	ME科	藤本政幸	6

10. 2017年度初期研修医の状況

1. スタッフ

2016年4月入職

尾内 綾 (聖マリアンナ医科大学卒)
 竹内 洋 (杏林大学卒)
 松原浩太 (群馬大学卒)
 松村憲浩 (聖マリアンナ医科大学卒)
 山田明子 (埼玉医科大学卒)
 頼高多久也 (熊本大学卒)

2016年8月入職

石濱智奈美 (日本医科大学卒)

2017年4月入職

井上智友記 (東海大学卒)
 入江直子 (札幌医科大学卒)
 春日みさき (佐賀大学卒)
 甲田昌紀 (島根大学卒)
 田中小百合 (秋田大学卒)
 西野直人 (佐賀大学卒)
 村本耀一 (筑波大学卒)

2. 研修ローテーション

2017年4月～2018年3月 ローテート

◆1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
井上智友記	C2	C2	C2	C2	D4	D4	C5	C5	救急	D5	精神科	D4
入江直子	C5	C5	C5	C5	C2	C2	D4	D4	救急	救急	産婦	外科
春日みさき	C2	C2	C2	C2	C5	C5	D4	D4	小児	小児	救急	産婦
甲田昌紀	C2	C2	C2	C2	D4	D4	C5	C5	地域 (熊谷)	地域 (熊谷)	麻酔	麻酔
田中小百合	D4	D4	D4	D4	C5	C5	C2	C2	D5	整形	C2	C2
西野直人	C5	C5	C5	C5	D4	D4	C2	C2	精神科	外科	外科	外科
村本耀一	D4	D4	D4	D4	C2	C2	C5	C5	D4	D4	整形	救急

◆2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
尾内 綾	地域(熊谷)	C 5	C 5	救急	救急	産婦	麻酔	外科	外科	小児	小児	小児
竹内 洋	小児	小児	外科	外科	外科	救急	救急	整形	整形	産婦	C 2	C 2
松原 浩太	救急	D 4	D 4	小児	小児	外科	産婦	C 5	精神科(みさと)	救急	地域(熊谷)	精神科(協同)
松村 憲浩	精神科(協同)	C 2	C 2	外科	外科	小児	小児	小児	麻酔	救急	救急	産婦
山田 明子	小児	外科	外科	救急	麻酔	麻酔	D 5	救急	救急	地域(熊谷)	D 4	D 4
頼高多久也	麻酔	麻酔	産婦	精神科(みさと)	救急	地域(熊谷)	地域(熊谷)	内科(緩和)	外科	外科	救急	救急
石濱智奈美	産婦	救急	救急	地域(熊谷)	精神科(協同)	外科	外科	精神科(みさと)	救急	麻酔	小児	小児

3. 院内での研修/学習会への参加

1) レジデントカンファレンス (偶数週金曜日 17:30 - 18:30)

初期研修に関する意見交換や初期研修委員会への要望提出、各種学習会の開催を主な目的として、初期研修医 14 名でカンファレンスを隔週で開催しました。学習会の開催にあたっては、初期研修医間での学習会はもとより、指導医や他職種にも幅広く依頼をかけ、日々の診療に必要な知識・技能の習得に取り組みました。

指導医による学習会：野口医師「リハビリテーションについて知ってほしいこと」

他職種による学習会：食養科「各食種の違いについて」、リハビリ科「脳梗塞疾患のリハビリについて」、入院医事課「レセプトについて」、地域連携看護科「在宅看取りについて」、MSW「介護にまつわる制度について」、薬剤科「薬剤科レクチャー」

2) 青年医師の会 (第2金曜日 17:30 - 19:00)

10 年目以下の医師を対象としている青年医師の会へ初期研修医も参加し、種々の学習会へ積極的に参加することで知識・技能の向上を図りました。

主な学習内容：「皮膚病 基本のキ (湿疹、薬疹、じんましん)」「血糖管理についてのいろいろ」「慢性咳嗽のマネジメント」「救急カンファレンス (長野 Ver)」「漢方薬について」「トリアージ訓練に向けて」

3) 救急カンファレンス (毎週火曜日 7:00 - 8:00)

主に初期研修医が経験した外来症例について、指導医の先生方に様々な診療科からのご意見をいただき、他の初期研修医と症例共有を行いました。

4) 各種学習会

「寺澤秀一先生の ER 指導&カンファレンス」

「若手医師セミナー 正しくビビろう！ ER の Pitfalls!、感染症診療の原則、神経『観察』って？、水・Na 代謝異常と輸液の考え方、外来における子どもの感染症疾患の見かた」

「片山光哉先生の総合内科カンファレンス (年 2 回)」

4. 研修修了発表会

2018年3月22日ふれあい会館にて、研修修了発表を行いました。

11. 社会貢献活動

開催日	テーマ	主催	講演者	参加人数
1月7日	脳いきいき教室結果返し	根岸支部	看護部	10
1月10日	イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護部	30
1月12日	公開健康講座（高血圧の話）	芝西支部	看護部	20
1月16日	生活習慣病とがんの学習会	東川口支部	医局	20
1月17日	健診結果返し班会	芝西支部	看護部	10
1月19日	いつでもどこでも体操	草加支部	リハビリテーション科	15
1月30日	いつでもどこでも体操講習会	安行慈林支部	リハビリテーション科	15
2月1日	終活について	松伏支部	地域連携看護科	20
2月3日	いつでもどこでも体操	春日部東支部	リハビリテーション科	15
2月7日	医療懇談会	鳩ヶ谷里支部	地域連携看護科	20
2月14日	イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護部	30
2月15日	測定とお話し	A B 保健委員長会議	糖尿病認定看護師	10
2月20日	高齢期に関する学習	東川口支部	看護部	10
2月24日	脳いきいき班会結果返し	差間支部	看護部	10
2月26日	八潮消費者展、骨密度後の健康相談	八潮支部	看護部	30
2月28日	白ゆり班会（便チェック、大腸がんの話）	柳崎支部	看護師	10
3月7日	子どもの予防注射のお話し	木曾呂東内野支部	看護師	10
3月11日	北公民館祭り、セラバンドの実技指導	三郷支部	協同病院	15
3月13日	薬の飲み方・使い方、ジェネリック医薬品についての学習	東川口支部	薬剤科	10
3月14日	イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護部	30
3月16日	総会での健康講座（糖尿病について）	芝西支部	糖尿病認定看護師	10
3月24日	総会、脂質異常の話	源左衛門支部	食養科	10
3月24日	いつでもどこでも体操の講習会	安行支部	リハビリテーション科	10
3月26日	総会、便チェック判定と大腸がんの話	道合神戸支部	看護部	10

開催日	テーマ	主催	講演者	参加人数
3月28日	糖尿病の話し	芝北支部	外来Ⅱ	10
3月28日	いつでもどこでも体操講習会 (越谷)	東部利根南支部	協同病院	15
3月30日	がんの話	根岸支部	看護部	20
3月31日	脂質異常症の話し	越谷支部	食養科	15
4月1日	脂質異常症の話し	東部地区吉川支部	管理栄養士	26
4月7日	すこしお生活の学習	県央地区桶川支部	管理栄養士	20
4月11日	3支部合同イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護部	30
4月11日	WHO世界保健デー 健康相談	南部地区	医師・看護師	250
4月13日	「くらしの学校」事務局	伊刈芝支部	食養科	15
4月15日	いつでもどこでも体操指導	上尾西支部	リハビリテーション科	20
4月23日	ストレッチセラバンド指導	鳩ヶ谷中央支部	リハビリテーション科	12
5月9日	イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護師	30
5月11日	脳いきいき教室結果返し班会	戸塚中央支部	看護師	10
5月16日	脳いきいき教室結果返し	神根東支部	看護師	10
5月17日	健診について話し	南部地区ABブロック保健長会議	健康増進センター	15
5月17日	脳いきいき教室結果返し	東部・吉川支部	協同病院	10
5月21日	健康チェック (血圧) と健康相談	安行・安行慈林支部	看護師	50
5月25日	減塩料理実習	患者会 ひざっ子の会	管理栄養士	16
5月26日	フレイル学習と予防体操	神根東支部	看護育成課	30
5月28日	救護要員	鳩ヶ谷子どもフェスティバル	地域連携看護科	150
5月30日	世界保健デー (健康チェック、スモーカーライザー、健康相談)	南部地区 世界禁煙デー	看護師	250
5月31日	健診結果返し班会	草加支部	看護師	15
6月4日	能トレ いつでもどこでも体操	川口母親大会	リハビリテーション科	
6月8日	いのちとくらしの学校 講座「食べ物と健康」	伊刈・芝支部	管理栄養士	12
6月13日	3支部合同まちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護師	30
6月22日	保健教室第1課		看護育成課	10
6月29日	保健教室「健康づくりと運動」		リハビリテーション科	7
6月29日	思春期の性教育	北本高校1年生	助産師	300

開催日	テーマ	主催	講演者	参加人数
7月1日	すこしおでスタミナ料理実習	鳩ヶ谷辻支部	調理師	20
7月3日	人の臓器の仕組み（とりわけ腎臓）	戸塚南支部	検査科	8
7月5日	保健教室「食べ物と健康」	栗橋支部	管理栄養士	17
7月7日	七夕フェスタで健康相談	越谷支部	看護師	70
7月11日	3支部合同まちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護師	30
7月13日	くらしの学校、第4講座、生活習慣病とがん	伊刈芝支部	医師、看護師	30
7月13日	保健教室「食べ物と健康」	本部けんこう文化部	管理栄養士	9
7月19日	口腔ケア	南部地区A Bブロック	歯科衛生士	13
7月20日	浦和診療所ボランティア学校	浦和診療所ボランティア学校	リハビリテーション科	5
7月21日	フレイル予防のための食事について	東部地区 春日部東支部	管理栄養士	23
7月24日	セラバンド いつでもどこでも体操	吉川支部	リハビリテーション科	16
7月26日	すこしお料理教室	西並支部	調理師	16
7月26日	腰痛・膝痛の予防	松伏支部	リハビリテーション科	14
7月30日	土健 保健委員研修会	埼玉土健国保組合	管理栄養士	29
7月30日	わくわく健康まつり 糖尿病療養講座	川口診療所	看護師、管理栄養士	43
8月1日	命の授業	幸手支部	看護師	35
8月8日	イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護部	30
8月10日	いつでもどこでも体操+E-SAS	源左衛門新田支部	リハビリテーション科	13
8月16日	熱中症の学習会	A Bブロック保健長会議	看護師	15
8月21日	駅前健康相談	医局・S H J委員会	医師、看護師	27
8月26日	班・組合員交流会、フレイル&予防体操	道合神戸支部	看護師	15
8月26日	子ども保健教室	安行慈林支部	医局	20
8月28日	子ども保健教室	八潮支部	看護師	18
9月4日	班会でのサプリメント学習会	戸塚南支部	薬剤科	8
9月5日	健康づくりと運動の学習といつでもどこでも体操	差間支部	リハビリテーション科	12
9月6日	すこしお料理教室	鳩ヶ谷里支部	調理師	15
9月6日	間食・補食についての学習会	にこにこ子育て班	管理栄養士	22
9月8日	公民館祭り健康相談	鳩ヶ谷里支部	地域連携看護科	50

開催日	テーマ	主催	講演者	参加人数
9月10日	平和祭り健康相談	鳩ヶ谷中央支部	透析看護	50
9月12日	イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護師	30
9月13日	原水禁世界大会報告	安行慈林・安行支部	看護師	15
9月13日	ヘルシー お肉料理・常備食 料理教室	埼玉土健 越谷支部	管理栄養士	11
9月16日	すこしお講座	ときわ支部	調理師	8
9月21日	すこしお料理教室	鳩ヶ谷中央支部	調理師	12
9月21日	いつでもどこでも体操+E-SAS	源左衛門新田支部	リハビリテーション科	19
9月25日	いつでもどこでも体操+E-SAS	吉川支部	リハビリテーション科	15
9月25日	すこしお料理教室	上尾西支部	調理師	16
9月29日	救急対処	わいわいひまわり	看護師	15
9月30日	転倒予防体操 (いつでもどこでも体操)	大宮診療所	リハビリテーション科	20
9月30日	減塩料理実習	患者会 (あけぼの会)	管理栄養士	13
10月1日	本部中島保健師と同行	生協歯科ヘルスチャレンジ	看護師	15
10月3日	健康講座：バランス食と減塩	差間支部	管理栄養士	12
10月4日	運動教室インストラクター	松伏支部	看護師	14
10月6日	子育て相談	浦診パルテラス親子ふれあいサロン	看護師	30
10月8日	公民館祭り健康相談	鳩ヶ谷里支部	地域連携看護科	50
10月10日	イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護師	30
10月11日	すこしお料理教室	幸手支部	調理師	19
10月11日	口腔ケア	差間支部	歯科衛生士	20
10月13日	健康講座 (糖尿病の話)	源左衛門支部	糖尿病認定看護師	25
10月13日	健康講座：糖尿病	源左衛門支部	管理栄養士	32
10月14日	人生の最期の迎え方	安行・安行慈林支部	医局	150
10月15日	環境フェアでの健康相談	草加支部	看護師	50
10月18日	高血圧と塩分の話し	南部地区A Bブロック	管理栄養士	12
10月19日	いつでもどこでも体操+E-SAS	源左衛門新田支部	リハビリテーション科	14
10月19日	健康講座：砂糖と間食	伊刈・芝支部	管理栄養士	18
10月21日	健康講座 (糖尿病の話し)	木曾呂東内野支部	糖尿病認定看護師	20
10月21日	支部待つり健康相談	鳩ヶ谷里支部	保健師	50

開催日	テーマ	主催	講演者	参加人数
10月21日	けんこうまつり ストレッチ他	木曾呂東内野支部	リハビリテーション科	20
10月22日	民商まつりで健康チェック	芝西支部	看護育成課	50
10月23日	いつでもどこでも体操+E-SAS	吉川支部	リハビリテーション科	15
10月23日	喘息教室		リハビリテーション科	13
10月25日	下肢筋力アップ いつでもどこでも体操	戸塚南支部	リハビリテーション科	22
10月26日	フレイル予防のための食事、調理実習	庄和支部	管理栄養士	17
10月26日	脳いきいき教室結果返し班会	伊刈芝支部	看護師	10
10月28日	骨のお話しと強くする体操	根岸支部	看護師	30
10月28日	健康食品のウソ、ホント・お薬相談	新郷支部	薬剤科	29
10月29日	支部祭り健康相談	鳩ヶ谷中央支部	看護師	50
10月30日	運動教室インストラクター	安行慈林支部	看護師	10
10月31日	健康講座（糖尿病の話し）	芝南支部	糖尿病認定看護師	30
10月31日	運動教室インストラクター	東川口支部	環境管理課・看護育成課	20
11月4日	公民館祭り健康相談	鳩ヶ谷中央支部	看護師	50
11月6日	健診結果返し班会	戸塚南支部	検査科	8
11月6日	やっではいけない筋トレやっしてほしい筋トレ	あしの会	リハビリテーション科	30
11月8日	命の授業	北中夢ワーク	助産師	4
11月14日	イオンまちかど健康チェック	伊刈芝支部	看護師	30
11月15日	すこしお料理教室	差間支部	調理師	9
11月15日	脂質異常症の学習	南部A B 保健長会議	看護師	15
11月16日	いつでもどこでも体操+E-SAS	源左衛門新田支部	リハビリテーション科	15
11月17日	すこしお料理教室	埼玉土健国保組合	管理栄養士	27
11月22日	認知症の話し	ひとつぶの会	看護師	10
11月27日	いつでもどこでも体操+E-SAS	吉川支部	リハビリテーション科	15
11月28日	白ゆり班会 便チェック	柳崎支部	看護部	13
12月5日	生活習慣と肥満、小児に関する健康相談	差間支部	医局、看護師	15
12月7日	すこしお料理教室	桶川支部	調理師	22
12月9日	すこしお料理教室	鳩ヶ谷辻支部	調理師	12
12月16日	ヘルシーお菓子作り	乳腺ひまわりの会	管理栄養士	6
12月21日	いつでもどこでも体操+E-SAS	源左衛門新田支部	リハビリテーション科	15
12月25日	いつでもどこでも体操+E-SAS	吉川支部	リハビリテーション科	20

12. 外部向け教室・講座、交流会

開催日	研修会・講演会名	主催	講演者	参加人数
4月13日	ベビーランチ	小児科	和泉医師	8
4月14日	ベビーマッサージ	小児科	看護師、保育士	10
5月11日	ベビーランチ	小児科	和泉医師	4
5月12日	ベビーマッサージ	小児科	看護師、保育士	10
5月26日	子育て教室「子どもを救う予防注射～知っておきたい注射の話」	子育て支援チーム	小児科平澤医師、看護師、助産師、管理栄養士、保育士	35
6月8日	ベビーランチ	小児科	和泉医師	8
6月21日	つくし保育所「体験保育」	つくし保育所	保育士	4
7月13日	ベビーランチ	小児科	和泉医師	8
7月14日	ベビーマッサージ	小児科	看護師、保育士	2
7月15日	介護者教室「排泄ケアの不安解消」	D5病棟	介護福祉士	7
7月19日	つくし保育所「体験保育」	つくし保育所	保育士	6
7月28日	子育て教室「生活リズムは子どもを育てる～早寝・早起き・みんなで子育て」	子育て支援チーム	小児科平澤医師、看護師、助産師、管理栄養士、保育士	40
8月5日	院内夏休み公開講座「命の授業」	C3産婦人科	助産師	51
8月8日	透析調理実習	透析室	管理栄養士	5
8月10日	ベビーランチ	小児科	和泉医師	4
8月19日	介護者教室「認知症・・・基本のき」	D5病棟	介護福祉士、看護師、社会福祉士	12
8月23日	つくし保育所「体験保育」	つくし保育所	保育士	8
9月8日	ベビーマッサージ	小児科	看護師、保育士	4
9月14日	ベビーランチ	小児科	和泉医師	10
9月16日	介護者教室「腰痛予防・移乗動作」	D5病棟	理学療法士、作業療法士	9
9月20日	つくし保育所「体験保育」	つくし保育所	保育士	6
9月22日	子育て教室「どうしよう子どもが病気になるっちゃった～病気時の対応」	子育て支援チーム	小児科平澤医師、看護師、助産師、管理栄養士、保育士	36
10月3日	肝臓病教室	消化器医療チーム		8
10月12日	ベビーランチ	小児科	和泉医師	8
10月13日	ベビーマッサージ	小児科	看護師、保育士	2
10月18日	つくし保育所「体験保育」	つくし保育所	保育士	4
10月23日	小児科「喘息教室」	小児科	和泉医師	18
10月29日	患者会「のびる会」旅行	患者会	看護師、リハビリテーション科	30
11月2日	子育て交流会	つくし保育所	淑徳大学講師 松家まきこ	54
11月9日	ベビーランチ	小児科	和泉医師	8
11月10日	ベビーマッサージ	小児科	看護師、保育士	14
11月18日	介護者教室「栄養指導」	D5病棟	管理栄養士	5

11月24日	子育て教室「子どもを救う予防注射～知っておきたい注射の話」	子育て支援チーム	小児科平澤医師、看護師、助産師、 管理栄養士、保育士	45
12月8日	ベビーマッサージ	小児科	看護師、保育士	8
12月14日	ベビーランチ	小児科	和泉医師	10

うぶ声学校（初産婦向け）・経産婦うぶ声学校・帝王切開うぶ声学校

1課	女性の身体と妊娠の成立・お産の仕組み 妊娠中の栄養・妊娠中の保健と日常生活
2課	グループワークで自分の身体を知る 食事について・入院時の必要物品 母乳育児について
3課	グループワークでお産の流れを知る・妊娠
4課	分娩経過と入院の時期・産後の経過・呼吸法 お産に伴う社会保障制度・赤ちゃんとの生活 沐浴・座談会・お産のVTR・喫煙について
5課	おっぱい相談・ベビーマッサージ・交流会等

